



令和 4年 4月

三好市議会議長 殿

議員名 竹内 義了



令和 3 年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第 6 条第 1 項に基づき、
別紙のとおり令和 3 年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和3年度政務活動費収支報告書

議員名 竹内 義了

1 収入

政務活動費 204,000 円

2 支出

(単位：円)

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|--------|----|
| 調査研究費 | | |
| 研修費 | | |
| 資料作成費 | 54,991 | |
| 資料購入費 | | |
| 広報費 | 67,650 | |
| 広聴費 | | |
| 会議費 | | |
| 要請・陳情活動費 | | |

3 残 額 81,359 円

領 収 証

竹内義了様

No. _____

金額

79528

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

但「議会と自治体」誌代 / 年分として
2022年3月10日 上記正に領収いたしました

〒776-0020

日本共産党阿北地区委員会

電話

FAX



GR1618

領 収 書

竹内 義了 様

8, 184 円

月刊「自治研」 令和3年4月分～令和4年3月分

令和4年 3月18日

出版物取扱者



領 収 証

竹内義了様

令和4年3月22日

令和3年4月分

4年2月分

☆ 737-279-

但 朝日新聞社 として
上記正に領収いたしました

有限会社 M T S

代表取締役

印



様式第14号（申し合わせ第6条関係）

広報経費内訳書

広報の内容 三好市議会レポート よしのり通信

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-------|--------|----|
| 印刷製本費 | 67,650 | |
| 消耗品費 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

※ 作成した広報紙・報告書等を1部添付すること。

※ 領収書を添付すること。

複数人での支出の場合は、当該支出に関する議員氏名

| |
|--|
| |
|--|

領 収 証

No. 036159

竹内 よしのり 様

| | | | | |
|----|--|----|-----|-----|
| 金額 | | 百万 | 千 | 円 |
| | | | 744 | 000 |

| | | |
|--------|-----|---|
| 内 訳 | 現金 | |
| | 小切手 | |
| | 手形 | |
| | 相殺 | |
| | 取込 | ✓ |



但 よしのり通信 Vol. 27

上記の金額正に領収致しました

令和 3 年 8 月 10 日



株式会社 さくら印刷

代表取締役

〒778-0020

TEL

FAX



領 収 証

No. 036536

竹内 よしのり 様

| | | | | |
|----|--|----|-----|-----|
| 金額 | | 百万 | 千 | 円 |
| | | | 746 | 200 |

| | | |
|--------|-----|---|
| 内 訳 | 現金 | ✓ |
| | 小切手 | |
| | 手形 | |
| | 相殺 | |
| | | |



但 よしのり通信 29号

上記の金額正に領収致しました

令和 4 年 3 月 10 日



株式会社 さくら印刷

代表取締役

〒778-0020

TEL

FAX



笑顔届ける

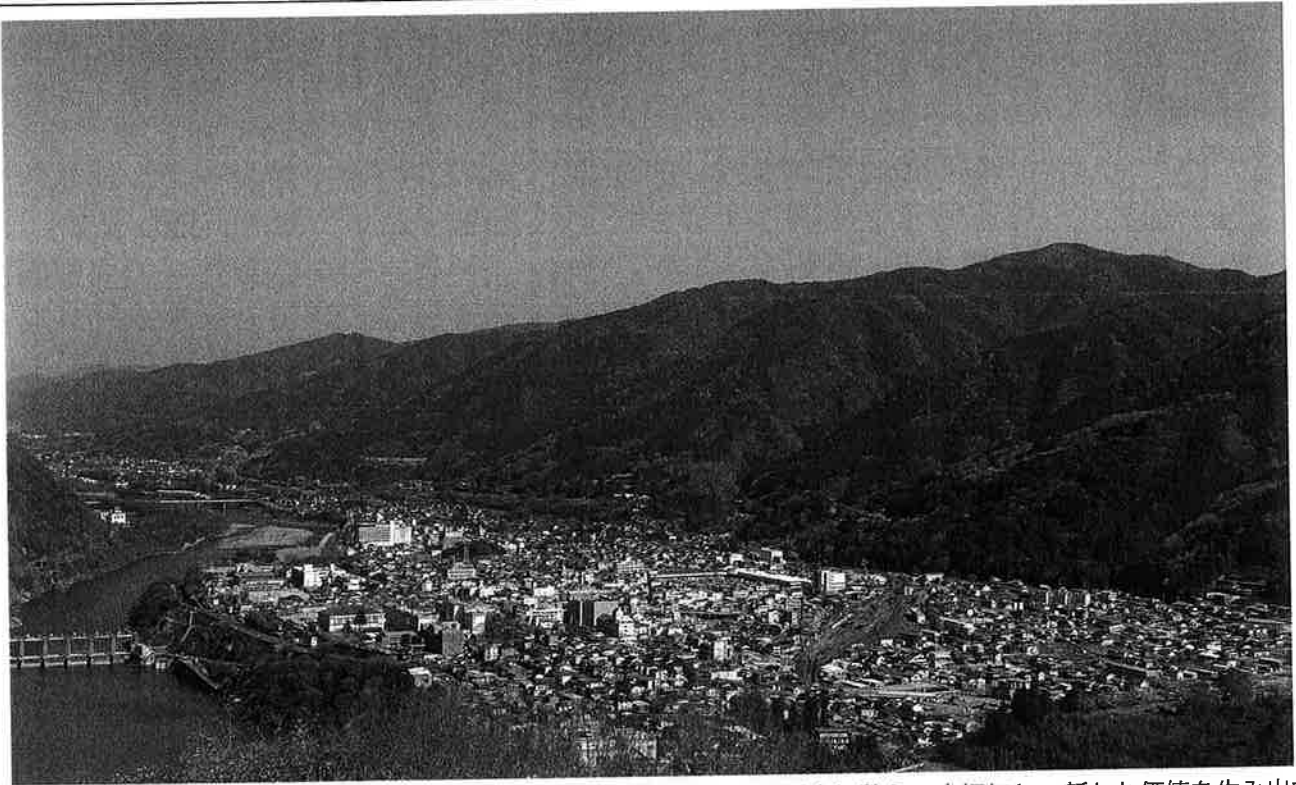
よしのり

通信

Vol.27

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



三好市池田町は豊かな自然に囲まれています。この財産をこれまで以上に整え、大切に、新たな価値を生み出す取り組みが進められています。ジオパーク構想や、吉野川を中心としたアウトドアスポーツの拠点づくりなどとあわせて、誰もが暮らしやすいまちづくりを官民協働で進めていく必要があります。どのようなまちづくりをめざすか。市民一人ひとりの声を大切にする市政が求められています。

全国で新型コロナウイルス感染症対策としてのワクチン接種が開始され、四月十二日以降、高齢者へのワクチン接種が始まります。

具体的な接種スケジュールの見通しは示されていませんが、三好市では個別接種（かかりつけの病院での接種）と集団接種（接種会場を設置しての接種）両方の方法でワクチン接種を行うことが決まりました。また、土日での接種日の設定や、接種会場へのタクシー送迎などの支援も行います。

二月初旬に実施した「ワクチン接種に関するアンケート調査」に多くの皆さまからご協力をいただきました事、この場を借りてお礼申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

安心、安全にワクチン接種を受けることができるよう、皆さまからいただいた貴重なご意見を基に、引き続き市への提言、意見反映に努めていきます。

地域経済へのコロナの影響は長期化が予想されます。積極的な経済施策の実現に向け、多くの声を市政に届けていきます。引き続きのご支援と、ご協力をお願いいたします。

二〇二一年四月

三好市議会議員

竹内義了



2021年度 事業あれこれ

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術助成を増額

昨年度から新しく制度化できた「飼い主のいない猫」への不妊・去勢手術助成制度。ボランティアの方々をはじめ、市内各地で多くの皆さまにご活用いただきました。



本年度は対象頭数、助成額ともに大きく増やすことができました。今年も7月頃から利用が可能となる予定です。

高校生下宿の家賃を補助

お試し住宅や空き家活用など、これまで進めてきた定住促進対策事業に加え、三好市内の高等学校に通学するために居住している下宿等の家賃経費の一部を補助します。

各種部活動の活性化などが見込まれるとともに、将来の交流人口の増加等につながる高等学校生徒を呼び込み、地域の活性化を図ります。



引き続きコロナ対策支援

新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに地域経済を守る施策が重要です。全国的に売上の落ち込みが激しい飲食業・運輸業など特定の業種に対して「令和3年度三好市＜緊急支援＞持続化給付金」として緊急支援します。

また、中小企業等への支援事業やオンライン合同企業説明会などの事業者支援や、市内の子どもたち一人一台のパソコン環境整備、Wi-Fi環境整備支援など、コロナ対策事業にも引き続き取り組んでいきます。



議員定数を20人に削減

三好市議会の定数はこれまで22人でした。近隣の自治体と比べてもその数は多く、これまで議会内でも議員定数に関する議論が重ねられてきました。2月議会では次回選挙からの議員定数を20人とすることが決まりました。

人口減少が続く中、議員としての責務をしっかりと果たすべく、これまで以上の議員活動が求められます。

市民との対話集会の開催、議会改革や議会広報の拡充など、市民と議会を結ぶ取り組みが重要です。

環境施策を提言

日本政府は、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする脱炭素社会の実現をめざすことを明らかにし、地方との協力も含め総力を挙げて取り組むとしています。

エネルギーの地産地消、再生可能エネルギーの導入促進など、地方自治体が取り組むべき課題も増えてきます。全国では独自の環境施策を進める自治体も多く現れてきました。三好市もこうした取り組みと、豊かな自然環境を活かした政策の実現が必要です。

笑顔届ける

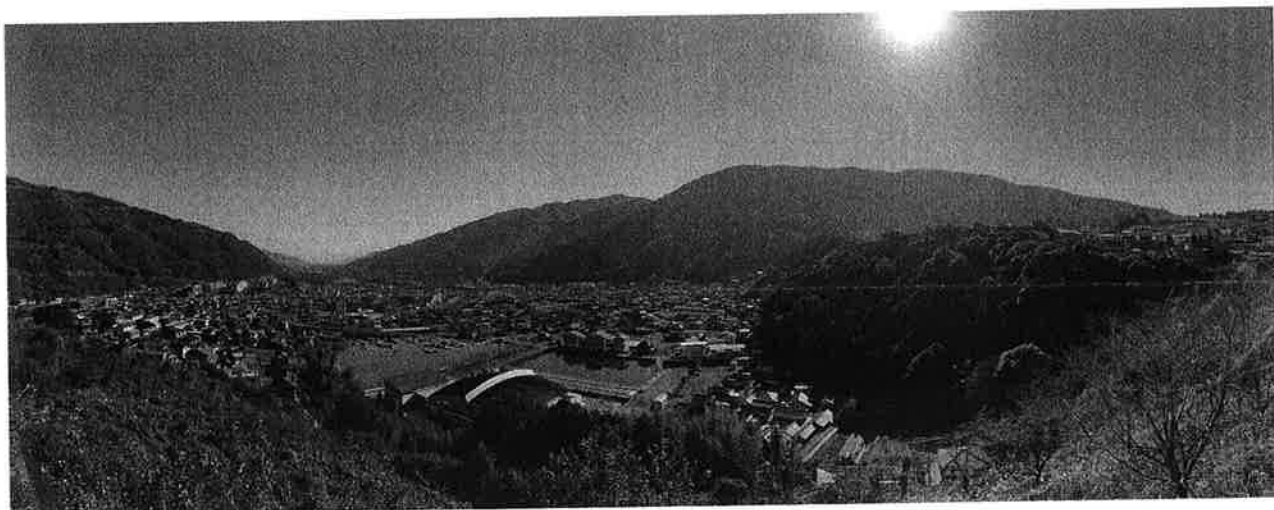
よしのり

通信

vol.29

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

みなさまには良き新春をお迎えのことと存じます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

世界規模で、豪雨や猛暑など自然災害が多発しています。国内でもこれまでに無い気象災害が頻発しており、「地球温暖化」に対する危機意識は国内外で大きく高まっています。今後、国・地方一体となった「脱炭素社会」をめざす取り組みが、これまで以上に加速していく事になります。

三好市では昨年12月議会で環境基本条例が制定され、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。本年をスタートとして、三好市の新しい環境施策が具体化していきます。

一昨年来のコロナ禍の中で、暮らしは大きく変わらざるを得ませんでした。しかし、少しずつ、少しずつ、人と人との日常のつながりも取り戻してきています。アフターコロナは厚い「公助」を基盤に、「いのち」「くらし」が大切にされるものでなければなりません。

これまで皆様方からお支えをいただき、2期8年、市議会議員として活動が続けることができました。「市民の皆さんの暮らしの声を市政へと届ける」「三好をもっと良くしたい」この想いは変わることなく、今も持ち続けています。引き続きのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



2022年1月

三好市議会議員

竹内 義了

公職選挙法の規定により、年賀の挨拶を控えさせていただきました

12月定例会議 一般質問要旨

問：市営住宅入居時の連帯保証人要件見直しを。

答：国、県の改定を踏まえ、入居要件見直す。

公営住宅は「住宅セーフティネット」の中核として、民間の賃貸住宅と比べ低廉な家賃が設定されており、住宅に困窮する低額所得者であっても入居が可能です。しかし近年では、高齢者やひとり親世帯などで連帯保証人の確保が難しくなっているなどの課題が指摘されています。国はすでに「保証人の確保を公営住宅への入居に際しての前提とすることから転換すべき」とした説明を全国の自治体に通知しており、県においても2020年2月に要件を見直しています。

公営住宅に求められる役割が果たせるよう「良好な住環境の整備」に取り組んでいくことが大切です。

三好市の市営住宅は総じて老朽化が進んでおり、「政策空き家」の増加も顕著です。多様化するニーズに合わせた住環境の整備が求められています。

問：今後の脱炭素の取り組みは。

答：環境基本計画を策定し、国・県・事業者等との連携を図る。

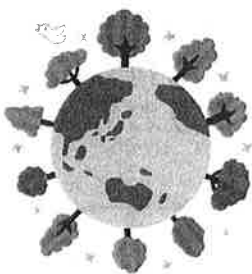
脱炭素の動きは世界的に加速しています。国は2021年4月に、2030年度の温室効果ガス削減目標を、2013年度比26%削減から46%削減に大きく上方修正しました。また、県においても「徳島県版・脱炭素ロードマップ」策定が進められています。

今後、三好市でも「環境基本計画」「脱炭素実行計画」作りが進められていくとともに、太陽光発電パネルや小水力発電設備の設置など、再生可能エネルギーの構築が求められてきます。国、県、三好市、市民、事業者などの理解と連携がこれまで以上に重要となります。

脱炭素の取り組みは「待ったなし」の状況です。「電力消費を抑える」「化石燃料の使用量を抑える」「再生可能エネルギーを増やす」「徹底したゴミの分別を図る」ことが重要です。合わせて、地域で作った再エネを地域で使う「地域マイクログリッド」の構築など、新しい施策を進めていくことが求められています。

ゼロカーボンシティ宣言

地球規模で温暖化が進むなか、気候変動に対する取り組みが求められています。市民一丸となった脱炭素への取り組みが重要となっています。三好市では「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素に向けた積極的な施策を進めていきます。



コロナワクチンの3回目接種

オミクロン株の世界的な拡大の中、3回目のワクチン接種が始まっています。2回目の接種から8ヶ月を経過した18歳以上の方が対象です。

12月より医療従事者の接種が始まり、2月から高齢者施設入所者及び従事者、3月以降に65歳以上の高齢者、5月以降に18歳から64歳の方が順次接種対象となります。（12月現在）

オンラインでの受付は行わず、予診表一体型接種券が送られてきますので、お待ちいただきますようお願いいたします。

